

船舶事故調査報告書

平成21年7月23日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員長 後藤 昇 弘
 委員 楠 木 行 雄
 委員 横 山 鐵 男（部会長）
 委員 山 本 哲 也
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年4月7日 20時12分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、北海道奥尻町 青苗岬灯台から真方位183° 5.7海里付近（概位 北緯41° 57.6′ 東経139° 26.6′）であった。）
事故調査の経過	平成21年4月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第28錦恵丸、9.7トン HK2-16897（漁船登録番号）、個人所有 14.82m×3.72m×1.37m、FRP ディーゼル機関、502kW（漁船法馬力数）、平成6年10月18日
乗組員等に関する情報	船長 男性 73歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和49年11月8日 免許証交付日 平成16年12月17日 (平成21年10月25日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、平成21年4月7日06時30分ごろ、えびかご漁の目的で、北海道奥尻町青苗漁港を出港し、同港南方沖11km付近の漁場に向かった。本船が予定時刻の15時になっても帰港しなかったことから、船長の親族は、18時00分ごろ、船長の携帯電話を呼び出したものの、応答がなかったため、日本水難救済会青苗救難所に通報し、僚船に捜索を依頼した。 20時12分ごろ、本船は、青苗岬灯台から真方位183° 5.7海里付近で、船首を北に向け、無人の状態の主機を中立運転とし、仕掛けられたえびかご引き揚げ用のロープがドラムに固定された状態で、捜索中の僚船に発見され、僚船の乗組員が本船を操船して青苗漁港に帰港した。 9日08時48分ごろ、船長は、船体発見場所付近の海面下約6mにおいて、えびかご引き揚げ用のロープが右足に絡んだ状態で発見された。 船長は引き揚げられ、病院に搬送されたが死亡が確認された。死亡推定

	時刻は平成21年4月7日11時00分ごろ、死亡原因は溺死と検案された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3 海象：波 約80cm、海水温度約10℃	
その他の事項	発見された船長は、救命胴衣を着用していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 船長がえびかごを引き揚げ中に落水し、溺死したことにより発生した可能性があると考えられる。 船長が落水したことについては、右足にロープが絡まったことが関与した可能性があると考えられるが、その理由を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、北海道奥尻町青苗岬南方沖において、本船が操業中、船長が落水したため、発生した可能性があると考えられる。	